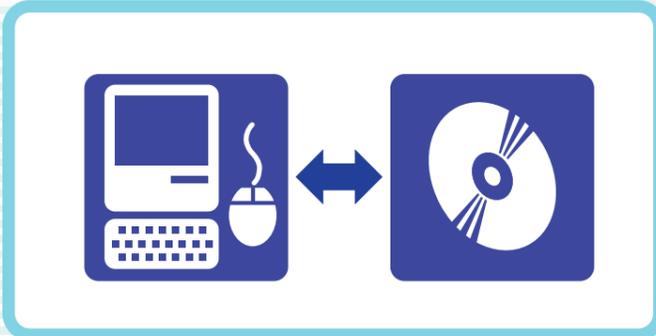


## 1. 始めに確認すること

購入したバージョンと動作環境を確認します



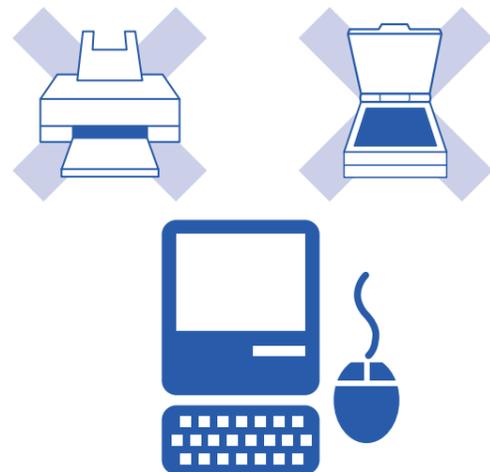
CODESOFT には以下のシリーズがあります。  
動作環境をよくご確認の上、インストールしてください。  
実際に動作するのは購入したライセンスの CODESOFT のみとなります。

シリーズ	動作環境
CODESOFT 9 Enterprise	・ Windows XP、Vista および 7 の各バージョン (但し、いずれも 64bit 版およびサーバー版は動作保障外)
CODESOFT 9 Runtime	・ メモリ：1GB 以上 ・ ディスクの空き容量：500MB 以上
CODESOFT 9 Win	・ CPU：2GHz 以上

！ 旧バージョンで作成したラベルを読み込むと、OS、プリンタードライバーの差異などによってレイアウトが変更され、修正が必要になる場合があります。

## 2. インストールの開始

まだ PC には何も接続しないで下さい



### 手順 1

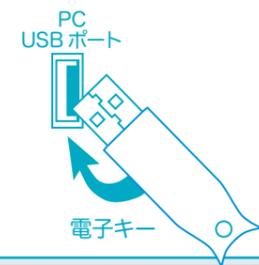
インストール CD 内の cdsetup.exe を  
エクスプローラ等から実行します

### 手順 2

画面の指示に従って、Microsoft Runtime ライブラリ (必要な場合)、  
購入した CODESOFT のバージョンの順にインストールします  
途中で PC の再起動が必要になる場合があります

### 手順 3

電子キー (ユーザー承認用ハードウェアキー、  
同梱されている場合) を PC に取り付けます



### 手順 4

続いてプリンターを取り付けて、  
ドライバーをインストールしてください

手順 3 へ

！ Windows XP では PC がブルーストップするかもしれません。その場合は、裏面の注意事項を参照して下さい

# 互換性に関する注意事項

## CODESOFT 8以降では全てのデータを UNICODE として扱います

CODESOFT 6シリーズの文字コードは、Shift JIS コード (MS-DOS、Windows 98、ME などのコード) です。それに対して、CODESOFT 8 以降では全てのデータを UTF-16LE UNICODE (Windows NT、2000、XP、Vista のネイティブ形式) で扱います。この変更により、Windows が扱うことのできる全ての文字を利用でき、GNU/Linux システムなど他の OS とのデータ相互交換が容易になっています。しかし、バーコードデータも UNICODE 化されるため、互換性について注意が必要です。

### UNICODE 化のルール

1. 英数字など一部の文字しか利用できないバーコード (事実上全ての一次元コード) では、入力した文字を ASCII コードに変換してコード化します  
そのコードで利用できない文字を入力した場合はコードを生成しません。この動作は、CODESOFT 6 と事実上同じです
2. 日本語などを利用できるコード (多くの二次元コード) では、以下のルールに従って UNICODE のまま、または ASCII コードに変換してコード化します
  - 全てのデータが英字、または英数字で構成されていれば、自動的に ASCII コードに変換してコード化します  
これはシリアル番号、ロット番号など、英数字のみで構成されるデータが多いことに対する特例です
  - データに漢字、非英数字を含む場合は、全てのデータを UTF-16LE UNICODE 化してコード化します  
Shift JIS に変換可能な文字のみで構成されていても自動変換はしません。入力する漢字によってコード化の方法が変わると、リーダーのプログラマに予期しない結果となるからです

ソフトウェアのバージョンアップによって、追加オプションが利用できる場合があります。  
詳しくはオンラインヘルプを参照してください。

### QR コード固有の問題

#### ■QR コードでの文字の扱い

QR コードは日本では比較的良好に使われる二次元コードですが、規格を厳密に解釈すると数字、英字、Shift JIS 漢字、JISX2110 の英数カナ文字以外は使用できないとも取れ、この場合は UNICODE を使用することは不可能と考えられます

QR コードの公式な規格である JISX0507 では、8.3.5 漢字モードで以下のように述べています

漢字モードは、JISX0208 の付属書 1 で符号化を行なう漢字集合 (漢字のほかに仮名、英数字等を含む) を扱う。  
各2バイトの文字値は 13 ビット2進コード語に圧縮する。

JISX0507 の元になった AIMJ-TC-3-3 では、5.3.1.4 8-ビットバイトモードで以下のように述べています

8-ビットバイトモードは、JISX0201 (ASCII 値 00-FF) に基づく8ビットのラテン/カナ文字を扱う。  
このモードにおいて、データは 8 ビット/文字密度でエンコードされる。

また、5.4.4 8-ビットバイトモードでは、表 6 : JIS8 ビットキャラクタセットのエンコード/デコード表を掲げ、バイト値 80-9F と E0-FF までは未定義で、保留である。と断言しています。JISX0507 8.4.4 8 ビットバイトモードの表 6 でも同様に未定義で、保留であることを明示しています。  
JISX0208 に基づくため、漢字モードとは JISX0208 の付属書 1 で符号化を行なう漢字集合の別称であり、このモードでは UNICODE を表現する余地はありません。また、バイナリモードではデータをありのままに表現できず、これも利用できません。

しかし、JISX0507 の 8.3.4 8-ビットバイトモードでは参考として

参考：このモードで使用する符号化文字集合は、QR コードを使用するアプリケーションで指定する符号化文字集合とする。

以上のように述べ、本文と食違って 8 ビットをありのままに扱う事も可能なように取れます

#### ■CODESOFT 8 以降の解釈

バイトモードは、JISX0507 の参考の動作を行なう事が出来るものとして扱います  
つまり、バイトモードはありのままのバイト列を扱えると解釈し、UNICODE はこのモードでコード化します。  
リーダーもこのように扱えなければいけません

### 互換性を維持するには

1. 明示的に Shift JIS 変換してコード化する (その1)  
数式変数に unicodetoDBCS 関数が新設されています。一旦フォーム変数などで入力データを受け取り、unicodetoDBCS 関数を使って Shift JIS 変換します

例 1 : Var0 の値を Shift JIS 化する  
unicodetoDBCS (Var0, "Japanese")

第 2 引致に Shift JIS を意味する Japanese を与えます

例 2 : Var0 の値を Windows の現在の非 UNICODE 文字へ変換する  
unicodetoDBCS (Var0, "")

第 2 引致に空文字を与えると、Windows の現在の非 UNICODE 文字となります (Shift JIS に限りません)

2. 明示的に Shift-JIS 変換してコード化する (その2)  
QR コードのプロパティ画面のオプションで「エンコードモード」を「Convert to Code Page」とし、「コードページ」で「Japanese (Shift-JIS)」を指定します。
3. QR コードにおいては、規格を厳格に解釈すると Shift JIS 漢字以外は利用できません。  
Shift JIS は Windows においても既にネイティブコードではないので、英数字のみを使用して下さい

## Windows XP で PC がブルーストッするとき

Windows XP SP2 以降の PC では、電子キードライバを危険なソフトと誤認する事があります  
この問題を回避するには、Windows の boot.ini ファイルを編集してインストールします

1. 次の方法で boot.ini ファイルを編集します
  - a. コントロールパネルのパフォーマンスとメンテナンス -> システムを選択し、システムのプロパティ画面を表示
  - b. 詳細設定タブをクリック
  - c. 起動と回復の設定ボタンをクリックし、起動と回復画面を表示
  - d. 起動システムの編集ボタンをクリックし、boot.ini ファイルのエディタを表示します
  - e. /NoExecute=OptIn に設定されている場合は、/NoExecute=AlwaysOff に値を変更し、ファイルを保存してください (大文字と小文字の区別はありません。以下同様)
2. または、起動ドライブのルートにある boot.ini の読み取り専用属性を解除して開きます  
同様に /NoExecute=OptIn に設定されている場合は、/NoExecute=AlwaysOff に値を変更し、ファイルを保存してください
3. PC を再起動して、再度インストールを行います
  - a. 電子キーを取り付けて正しくインストール出来たことを確認した後は、/NoExecute=OptIn に戻るかまいません
  - b. 違う USB ポートに電子キーを取り付けた場合、再度ドライバのインストールが起きます。この時にブルーストッしないように、一度良く使う全てのポートに抜き差ししておくとい良いでしょう